

科学館のできごと

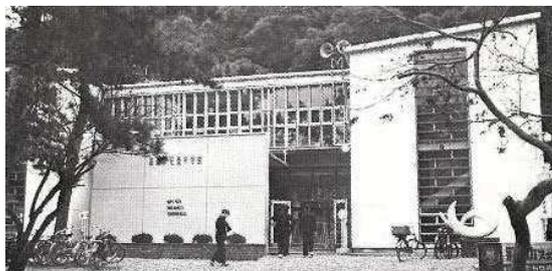
〔一九八〇〕
昭和55年 3月 31日 児童科学館閉館

〔一九七九〕
昭和54年 11月 岐阜市少女発明クラブ発足

〔一九七五〕
昭和50年 7月 21日 工作教室を設置

〔一九七二〕
昭和47年 児童科学館来館者数100万人達成

〔一九七二〕
昭和47年 7月 24日 科学教室を設置



児童科学館外観



館内の様子(「岐阜市の教育」より)

〔一九五七〕
昭和32年 4月 10日 登録博物館となる

〔一九五五〕
昭和30年 7月 1日 岐阜公園内に岐阜市児童科学館開館
☆全国初、児童対象 科学技術系の市立博物館！



児童生徒科学くふう展の様子
(「岐阜市の教育」より)



館内の様子
(「岐阜市今昔写真集(樹林舎)」より)

岐阜市児童科学館時代 (昭和30年～昭和55年)

〔一九七七〕
昭和52年 静止気象衛星「ひまわり」打ち上げ **日本初**

〔一九七六〕
昭和51年 ビデオデッキ発売開始 **日本初**

〔一九七〇〕
昭和45年 人工衛星「おおすみ」打ち上げ **日本初**

〔一九六九〕
昭和44年 アポロ11号 月面着陸に成功 **人類初**

〔一九六五〕
昭和40年 「量子電気力学分野での基礎研究」
朝永振一郎教授 ノーベル物理学賞受賞

〔一九六四〕
昭和39年 「東海道新幹線」開業 **日本初**

〔一九六二〕
昭和37年 リニア研究開始

〔一九六一〕
昭和36年 ポストーク1号 有人宇宙飛行に成功 **人類初**

〔一九六〇〕
昭和35年 カラーテレビ放送開始 **日本初**

〔一九五七〕
昭和32年 南極地域観測隊1次隊が昭和基地を設立

〔一九五五〕
昭和30年 ロケット実験機「ペンシルロケット」打ち上げ **日本初**

科学史ニュース

〔一九八七〕
昭和62年

親子科学教室開始

〔一九八七〕

展示室増築工事着工

昭和62年 6月24日

プラネタリウム建設及び



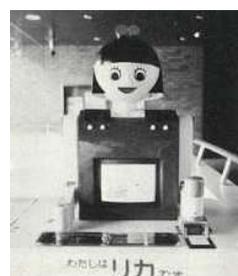
(建設当時)少年科学センター外観



館内の様子(「岐阜市の教育」より)



第1展示室



〔一九八二〕
昭和57年

サイエンスガイド発行開始

〔一九八二〕
昭和56年

家庭科学講座開始

〔一九八〇〕

昭和55年 5月1日 岐阜市少年科学センター開館

☆市制施行90周年と国際児童年の記念事業の一つとして、移転・拡充

〔一九七八〕

新館建設工事着工

昭和53年 12月24日 本荘の紡績工場跡地(現在地)に

科学館のできごと

岐阜市少年科学センター時代（昭和55年～昭和62年）

〔一九八七〕

カミオカンデで検出 **世界初**

昭和62年

超新星爆発(1987A)から生じたニュートリノを

〔一九八六〕

ハレー彗星が地球に接近

昭和61年

〔一九八五〕

シヨルダーホン発売開始

昭和60年

〔一九八三〕

家庭用ゲーム機「ファミコン」発売開始

昭和58年

〔一九八二〕

CD販売開始 **世界初**

昭和57年

〔一九八二〕

スペースシャトルが宇宙空間へ飛行 **人類初**

昭和56年

〔一九八〇〕

日本の自動車生産台数が世界一になる

昭和55年

科学史ニュース

岐阜市少年科学センター時代を振り返る

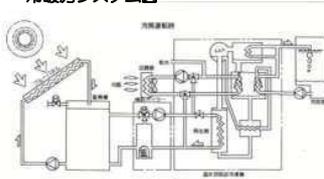
少年科学センター 施設概要



ソーラーシステム集熱版



冷暖房システム図



少年科学センターの屋上には、当時ではまだ珍しい太陽熱の吸収装置（ソーラー集熱パネル）が設置され、これで得られる温水を熱源として、館内の冷暖房に使用しているよ。
今では、太陽光発電は再生可能エネルギーの一つとして一般的だけどね。



空調設備	188.55㎡（実験室・会議室・研究室）
集熱版（ブルーパネル）	152.8㎡（99枚）（竣工）
冷凍機（ボイラールーム）	10.0kV
補助熱源	50,000kcal/h
蓄熱タンク	6.4t
総設備費	18,300,000円

どこがちがう？

下の写真は、岐阜市少年科学センターと岐阜市科学館の外観です。どこがちがうかな？



岐阜市少年科学センター



現在の岐阜市科学館

児童科学館は、のべ約 437 ㎡の建物で、相当手狭になっていたね。
少年科学センターは、のべ約 2,449 ㎡だから、5 倍以上の大きさになったね。
そのあと、プラネタリウム等や本館の東側を増築して、現在は、約 4,559 ㎡だから、さらに倍くらいになっているね。



少年科学センターが建設される前

どちらの写真も宇佐付近の写真です。右は昭和 56 年 3 月の整備中の頃の写真、下は平成 7 年 1 月の整備後の写真です。



岐阜市提供

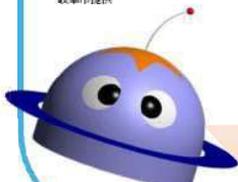


岐阜市提供

昭和 55 年に今の場所（本荘）に建設された少年科学センター。実は、当初は梅林公園内が建設予定地だったの。



少年科学センターの前は、三菱レーヨン、東洋紡の紡績工場だったよ。隣のハツ草公園や岐阜南工業高等学校、県美術館や図書館などもそうだね。岐阜市内は、昔多くの繊維関係の工場が立っていたね。



事業や展示

岐阜市少年少女発明クラブ



岐阜市の教育より



少年少女発明クラブは、発明協会創立 70 周年の記念事業の一環として、昭和 49 年にスタートした事業です。全国 47 都道府県に 200 ヶ所以上、約 11,000 名の子どもたちと約 2,800 名の指導員が活動しています（令和 7 年現在）。岐阜県発明協会の下に 15 の支会と 5 つの少年少女発明クラブ（岐阜市・大垣市・多治見市・各務原市・瑞穂市）があり、岐阜市少年少女発明クラブは県内で 1 番早く昭和 54 年に発足しました。4 月の科学技術週間には今でも岐阜市少年少女発明クラブの作品展が開かれています。

リカちゃん・ケンちゃん

リカちゃんはスタンプロボットで、観覧券を差し込むと、「コンニチハ、ワタシの名前はリカです！・・・」とお客さんに話しかけながら、記念スタンプを押し、胸のモニターで案内表示をしたり、今日の天気や時刻を教えてくださいました。ケンちゃんはジャンケンロボットで、「ぼくとジャンケンゲームをしましょう！」とお客さんに話しかけます。ジャンケンポンの掛け声でお客さんは手元のコントローラーのボタンを押して、グー・チョキ・パーを選びます。同時にケンちゃんも胸にグー・チョキ・パーを表示して、その下に参加者との勝ち負けを表示するようになっていました。また、コントローラーのレバーで自由に動かすこともできました。昭和 55 年から、ケンちゃんは平成 14 年まで、リカちゃんは平成 25 年まで皆さんをお迎えていました！



〔一九九八〕
 平成10年3月31日 「ギフチョウランド」オープン

〔一九九六〕
 平成8年5月10日 特別展示室等増築工事着工



プラネタリウム



第2展示室



ギフチョウランド



天文台

〔一九九三〕
 平成5年 (少年科学センター開館後)
 来館者数100万人達成

〔一九九二〕
 平成4年3月8日 「ハイビジョンプラネット」オープン

☆科学技術・自然・天文の各分野にわたる総合的な科学館に
 〔一九八八〕
 プラネタリウム及び天文台新設
 昭和63年11月3日 岐阜市科学館に改称・開館

科学館のできる

岐阜市科学館時代（昭和63年～平成10年）

〔一九九八〕
 平成10年 世界最長の吊橋「明石海峡大橋」開通

〔一九九七〕
 平成9年 日本でのハイブリット車販売開始

〔一九九六〕
 平成8年 クローン羊が誕生 **世界初**

〔一九九五〕
 平成7年 Windows 95 発売開始

〔一九九四〕
 平成6年 気象予報士制度導入

〔一九九三〕
 平成5年 日本での一般向けインターネットサービス開始

〔一九九二〕
 平成4年 毛利衛宇宙飛行士 スペースシャトルに搭乗 **日本初**

〔一九九〇〕
 平成2年 秋山豊寛宇宙飛行士 ソユーズに搭乗 **日本初**

〔一九八九〕
 平成元年 携帯型ゲーム機「ゲームボーイ」発売

〔一九八八〕
 昭和63年 世界最長の鉄道道路併用橋「瀬戸大橋」開通

科学史ニュース

〔二〇一四〕
平成26年11月18日
来館者数300万人達成

〔二〇一七〕
平成24年11月18日
ぎふサイエンスフェスティバル初開催

〔二〇二二〕
平成24年4月28日
ぎふスターウォッチング開始

〔二〇二二〕
平成24年3月
「ハイビジョンアドベンチャーシップ」
オープン



夏の特別展の様子



ぎふスターウォッチングの様子



ぎふサイエンスフェスティバルの様子

〔二〇一五〕
平成17年10月22日
宇宙桜を敷地内に植樹
来館者数200万人達成

〔一九九八〕
平成10年7月
夏の特別展初開催

科学館のできごと

岐阜市科学館時代（平成10年～平成27年）

〔二〇一五〕
平成27年
重力波観測装置「LIGO」が重力波を検出 **人類初**

〔二〇一四〕
平成26年
小惑星探査機「はやぶさ2」打ち上げ

〔二〇一三〕
平成25年
ロシア チェレビンスクに巨大隕石が落下

〔二〇一〇〕
平成22年
サンプルを地球へ持ち帰る **人類初**

〔二〇〇九〕
平成21年
小惑星探査機「はやぶさ」小惑星「イトカワ」の

電気自動車の量産化スタート **世界初**

〔二〇〇八〕
平成20年
「Twitter」「Facebook」日本語版スタート

〔二〇〇七〕
平成19年
緊急地震速報 一般提供の開始

〔二〇〇六〕
平成18年
山中伸弥教授 iPS細胞の製作に成功 **世界初**

〔二〇〇三〕
平成15年
小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ

〔二〇〇一〕
平成13年
1時間に最大4千個の流星観測
しし座流星群大出現

〔一九九九〕
平成11年
四足歩行型ロボット「ALBO」発売

科学史ニュース

〔二〇五五〕
令和37年

岐阜市科学館100周年

〔二〇二五〕

令和7年7月1日

岐阜市科学館70周年

〔二〇二五〕

令和7年3月15日

プラネタリウムデジタル投映機器導入

〔二〇二四〕

令和6年7月14日

来館者数400万人達成

〔二〇二三〕

令和5年

「ナイトツアー」初開催
プラネタリウム100周年記念事業



スーパー理科室でのサイエンスショー



夜の岐阜市科学館の外観



デジタル機器導入後のプラネタリウム



〔二〇一六〕

平成28年5月1日

「スーパー理科室」オープン
常設展示室を大規模リニューアル

科学館のできごと

岐阜市科学館時代（平成28年～）

〔二〇二四〕

令和6年 SMMが月面着陸に成功

日本初

〔二〇二三〕

令和5年 チャンドラヤーン3号が月の南極に着陸

人類初

〔二〇二二〕

令和4年 ESOが天の川銀河中心ブラックホールを撮影

〔二〇二二〕

令和3年 ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡打ち上げ

〔二〇二〇〕

令和2年 スパコン「富岳」計算速度ランキング1位獲得

〔二〇一九〕

平成31年 ESOがM87ブラックホールを撮影

人類初

〔二〇一八〕

平成30年 長良隕石認定

〔二〇一六〕

平成28年 新元素113番元素名「ニホニウム」に決定

科学史ニュース